

川西町公立幼児施設等の再編計画

令和8年6月

川 西 町

1 はじめに

本町の幼児教育・保育をとりまく環境には、大きく二つの課題があります。

一つは、少子化の進行です。ここ数年で町内の出生数は大きく減少しています。これに伴い、公立幼児施設の利用者が減少しており、施設によっては適正なクラス人数を確保することが難しくなっています。

もう一つは、公立幼児施設の老朽化です。施設の運営や維持管理にかかる経費は増大しており、子どもたちの幼児教育・保育の環境を担保しながらも、経費の削減が求められています。

町内には公立施設のほかに、民間が認可を得て運営する幼児教育・保育施設が4施設、企業内の保育施設が2施設あり、それぞれが特色ある幼児教育・保育を行っています。

このような状況を踏まえ、町では町全体の適正な施設数や配置などの検討を重ね、令和8年3月に「川西町公立幼児施設等の在り方について」をまとめました。その後、幼児教育・保育の現場や保護者等との意見交換を経て、必要な見直しを行い、公立幼児施設の再編方針を具体化したものが「川西町公立幼児施設等の再編計画」です。

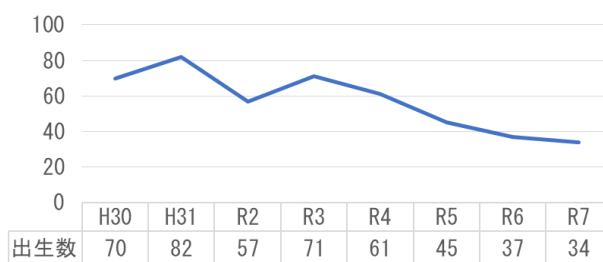
この計画によって、町全体の幼児教育・保育施設の最適化を進める一方、本町の子育て支援をさらに充実させることで、誰もが安心して子育てができるまちを目指してまいります。

2 現状と課題

(1) 現状

①出生数の推移

本町の各年度の出生数は、平成31年度に82人だったものが、令和7年度には過去最少の34人まで減少しています。



②施設別利用者数の推移

令和3年度までは公立施設と民間施設の利用者数は同程度でしたが、その後民間施設はほぼ横ばいの一方、公立施設の利用者数は大きく減少し、令和8年度は令和3年度の約1/2となっています。

	各年度4月1日現在(人)							
	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
小松保育所	100	98	86	71	72	71	68	49
北斗幼稚園	41	40	37	32	34	28	28	21
美郷幼稚園	52	57	58	56	42	30	27	22
玉庭へき地保育所	6	-	-	-	-	-	-	-
公立施設 計	199	195	181	159	148	129	123	92
小松幼稚園	104	103	104	106	99	95	100	100
美女木げんき保育園	32	33	29	28	24	27	22	20
あおぞら保育園	29	35	30	37	31	38	30	25
パステルファミリー	17	19	19	19	16	17	14	22
事業所内保育所	4	1	4	1	6	4	3	0
民間施設 計	186	191	186	191	176	181	169	167
町外施設	33	41	37	44	42	39	33	35
合計	418	427	404	394	366	349	325	294

③公立幼児施設の築年数

最も古い小松保育所は築47年、最も新しい北斗幼稚園は築27年を経過し、維持管理経費が増加しています。

施設名	構造	建物面積	敷地面積	建築年度	R7維持管理経費
小松保育所	鉄筋コンクリート造	956.81㎡	4,461㎡	S54	9,212,998円
美郷幼稚園	鉄筋コンクリート造	800.49㎡	4,391㎡	S58	9,344,034円
北斗幼稚園	木造	877.81㎡	9,792㎡	H11	
子育て支援センター	木造	799.53㎡	5,948㎡	S61	3,504,329円

(2) 課題

①施設数の適正化

子どもの数に対して施設が多く、子どもの社会性を育む集団規模の確保が難しいため、施設数の適正化が必要です。

②多様化するニーズへの対応

子育て世帯の家庭環境や就労環境の変化により多様化する幼児教育・保育ニーズへの対応が必要です。

③効率的な幼児教育・保育環境の整備

今後予測されるさらなる人口減少等を踏まえ、町全体で、効率的な幼児教育・保育環境を整えることが必要です。

④質やサービスの充実

効率的な施設配置を行う一方で、これまで以上に幼児教育・保育の質や提供するサービスの充実が必要です。

3 川西町の幼児教育・保育の方向性

(1) 公立施設の再編と民間への移行

①町全体で適正な集団規模を確保できる施設数とするため、公立施設の再編を行います。

②統合した施設には、保育所機能をもたせることを検討します。

③統合した施設は、民間施設への移行に目途が付いた段階で閉園します。

(2) 地域の子育て拠点の拡充

多様化するニーズに対応するため、地域の子育て拠点の拡充を図ります。

(3) インクルーシブな幼児教育・保育の推進

インクルーシブな幼児教育・保育を推進し、町のすべての子どもがともに学び成長できる環境を整えます。

(4) 民間施設の持続的な運営

民間施設は、特色ある幼児教育・保育を提供するとともに、将来的に町のすべての子どもの受け皿となり、持続的な運営を行うよう促進していきます。

(5) 町が担う役割

町では町内いずれの施設においても、きめ細かな幼児教育・保育ができるよう、幼保小連携など関係機関との情報共有や人材育成への支援を行うほか、川西町子ども子育て支援事業計画を推進し、町の幼児教育・保育の方向性を定めます。

4 川西町の幼児施設等の再編計画

◎小松保育所と美郷幼稚園は、令和11年3月に閉園します。

◎閉園する施設は、令和11年4月から北斗幼稚園に統合します。

◎統合施設は、令和13年3月に閉園します。

施設名	地区	施設種別	再編の時期	
小松保育所	小松	保育所	R11. 3月閉園	 統合
美郷幼稚園	中郡	幼稚園	R11. 3月閉園	
北斗幼稚園	大塚	幼稚園 但し、保育所機能をもたせることを検討	R13. 3月閉園	

5 おわりに

この「川西町公立幼児施設等の再編計画」は、町の幼児教育・保育施設配置の当面の課題を把握し、方向性を整理したうえで、再編の時期を具体化したものです。

社会情勢の変化や保育需要の状況等により、方向性に大きく影響を及ぼすような変化が生じた場合は、柔軟に見直しを行ってまいります。